

# 令和7年度事業報告書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

国土交通省が定めた令和5年度を開始年度とする「第12次船員災害防止基本計画」及び「2025年度船員災害防止実施計画」に基づいた協会の役割に沿って、以下の事業項目を実施することにより、船舶所有者、船員及び関係者が取り組む安全衛生活動への積極的な支援を行った。また、会員数の増加に向けた活動にも積極的に取り組むとともに、効率的な協会運営に努めた。

## 1. 船員労働安全衛生月間活動の推進

## 2. 広報活動による船員災害防止活動の推進

安全衛生資料の作成頒布、機関誌、ウェブサイト及び実務担当者連絡協議会による安全衛生関連情報の提供、船員災害防止協会優良会員認定等による会員及び関係者の安全意識高揚

## 3. 安全衛生教育及び技術指導

- ① 安全衛生講習会、生存対策講習会及び訪船等による安全衛生管理体制構築の支援並びに安全衛生技術指導及び教育
- ② 訪船船舶毎の安全衛生状況の実態調査及び集計・分析とフィードバック
- ③ 一般船舶及び漁船等における、転倒、はさまれ等作業時の多発災害、海中転落等に対応した死傷災害防止対策
- ④ 安全衛生教育普及書籍等の頒布及び出張講習等の外部からの受託事業

## 4. 登録試験及び登録講習等の実施

## 5. 船員の働き方改革に資する労働環境改善のための啓発活動

### (1) 衛生対策

- ① 船員の健康確保の観点から、受講者の要望に柔軟に対応し、少人数での受講希望にもオンライン講習で対応（「船員のメンタルヘルス確保とハラスメント対策」他）

### (2) 安全対策

災害発生データの分析による安全衛生活動へのフィードバック

また、これらの事業を支障なく遂行するうえで安定的な財務状況を維持するため、事業の効率化と財務の収支改善を図り、更に本部支部の連携を密にして事業を展開した。

事業の詳細は、以下のとおりである。

## 【本部事業】

### I. 理事会、総代会、その他会議

次の会議を開催した。

#### 1. 総代会

○令和7年度通常総代会（令和7年5月27日）

- 議題
- ・令和6年度事業報告、決算報告
  - ・令和7年度事業計画、収支予算
  - ・会員の除名
  - ・役員を選任
  - ・その他

#### 2. 理事会

○第137回理事会（令和7年5月27日）

- 議題
- ・令和6年度事業報告、決算報告
  - ・令和7年度事業計画、収支予算
  - ・会員の承認
  - ・在籍船員数の承認
  - ・令和7年度通常総代会提出議案について
  - ・その他（事業活動収支決算実績、顧問の委嘱について）

○第138回理事会（令和7年10月24日）

- 議題
- ・会員の承認
  - ・在籍船員数の承認
  - ・令和8年度補助金申請
  - ・参与の委嘱

#### 3. 商船・漁船合同専門委員会

○第60回委員会（令和7年5月19日）

- 議題
- ・令和6年度事業報告、決算報告
  - ・令和7年度事業計画、収支予算
  - ・会員の承認
  - ・在籍船員数の承認
  - ・会員の除名
  - ・事業活動収支決算実績
  - ・その他

○第61回委員会（令和7年10月3日）

- 議題
- ・令和7年度上半期事業実施状況
  - ・令和8年度補助金申請
  - ・会員の承認
  - ・在籍船員数の承認
  - ・参与の委嘱
  - ・その他

4. 第10回 外航問題調査委員会（令和8年2月2日）

- 議題
- ・令和7年度事業報告（令和7年12月末日現在）
  - ・衛生管理者講習受け入れ人数
  - ・船員労働安全衛生月間
  - ・出張講習等の実施状況
  - ・訓練手引書改訂
  - ・船員災害防止規程の改定
  - ・その他

5. 第10回 漁船問題調査委員会（令和8年2月26日）

- 議題
- ・令和7年度事業報告（令和7年12月末日現在）
  - ・衛生管理者講習受：B講習、C講習の実施状況
  - ・船員労働安全衛生月間
  - ・出張講習等の実施状況
  - ・訓練手引書改訂
  - ・船員災害防止規程の改定
  - ・その他

6. 第10回 内航問題調査委員会（令和8年2月17日）

- 議題
- ・令和7年度事業報告（令和7年12月末日現在）
  - ・衛生管理者講習受け入れ人数
  - ・船員労働安全衛生月間
  - ・出張講習等の実施状況
  - ・訓練手引書改訂
  - ・船員災害防止規程の改定

7. 支部事務局長会議（令和7年6月24日～25日）

- 議題 ① 本部報告
- ・R6 事業報告・決算報告、R7 事業計画・収支予算
  - ・総代会その他の報告事項
  - ・その他
    - ・支部からの第5の事業の講習依頼

- ・学習管理システムの活用
- ・優良会員認定
- ・機関誌各運輸局寄稿依頼
- ・令和8年度総代選任

② 支部報告

- ・各支部報告

③ その他

8. 第4回支部長会議（令和7年11月27日）

- 議題
- ・事業状況報告（本部・支部）
  - ・意見交換
  - ・その他

## II. 事業実施実績

### 1. 船員労働安全衛生月間活動の推進

#### 1. 月間活動

(1) 令和7年度(第69回)船員労働安全衛生月間関係資料の作成配布

安全衛生に関する家族目線を加えた標語及び体験記・意見を懸賞募集し、これらの入選作品を掲載した『月間ポスター』、『標語ポスター』、『実施のしおり』及び『リーフレット』を作成し、海運・水産各社、関係官庁、関係団体及び支部・地区支部等に配布した。各資料の作成部数は毎年実施するアンケート調査結果に基づき適正部数とした。

- |                      |         |
|----------------------|---------|
| ・月間ポスター（和文）（A2判4色刷）  | 10,100枚 |
| ・月間ポスター（英文）（A2判4色刷）  | 1,400枚  |
| ・標語ポスター（和文・英文A3判4色刷） | 10,300枚 |
| ・実施のしおり（A4判）         | 12,500部 |
| ・リーフレット（2種）          | 12,000組 |
| ・月間ステッカー（訪船指導）       | 1,360枚  |

(2) 「標語」、「体験記・意見」、「ポスター」選考委員会及び「実施のしおり」編集委員会開催（令和7年6月26日）

応募により集まった安全衛生に関する「標語」及び「体験記・意見」の作品について選考委員会で入賞作品の選考を行った。

#### 2. 船員災害防止大会

(1) 船員労働安全衛生功績者の表彰

船員の安全の確保または船内衛生の向上に尽力し、その功績が極めて顕著な会員、団体並びに会員に所属する船舶及び個人を各支部からの推薦をも基に選考し、船員災害防止大会等において、会社2社、個人7名を表彰した。

個人 功績賞2人：（関東支部1人、中部支部1人）

功労賞 5人：（中部支部2人、中国支部3人、九州支部1人）

## （2）本部役職員の出席

支部及び地区支部において開催される下記の「船員災害防止大会」（全 18 会場のうち、12 会場）に本部役職員が出席して、「高年齢船員の健康確保」、「生活習慣病の予防（基本・実践）」、「メンタルヘルスの確保」等の講演により、安全衛生意識の高揚に努めた。

8月21日	（舞鶴）専務（講演「メンタルヘルス」）
26日	（大阪）部長（講演「生活習慣病」）
28日	（室蘭）専務（講演「メンタルヘルス」）
9月 1日	（神戸）部長
5日	（新潟）部長（講演「生活習慣病」） （横浜）専務（講演「高年齢船員」）
8日	（関東）特任（講演「メンタルヘルス」）
9日	（高松）専務（講演「メンタルヘルス」） （福岡）部長
10日	（塩釜）特任（講演「メンタルヘルス」）
11日	（名古屋）部長（講演「生活習慣病」）
12日	（松江）専務（講演「生活習慣病」）

## Ⅲ. 広報活動による船員災害防止活動の推進

### 1. 季刊機関誌「船員と災害防止」の発行

船員の安全衛生に関する情報、本部・支部活動の状況及び、船内安全衛生に役立つ情報等を記載した機関誌を以下のとおり発行した。

- ・春季号（第 97 号） 5,895 部
- ・夏季号（第 98 号） 5,900 部
- ・秋季号（第 99 号） 5,900 部
- ・冬季号（第 100 号） 5,800 部

### 2. ウェブサイトの活用・充実

ホームページについて、主に以下について工夫・改善を図った。

- ・関東地区で実施した安全衛生に関する講習の会員向け動画配信
- ・国が公表している各種資料等の周知

### 3. 船員災害防止協会案内リーフレット更新

内容及び写真を更新するとともに活動全体をわかりやすく紹介する「令和 7 年度版リーフレット」（「生活習慣病による死亡のリスク」等）を作成し、船員災害防止大会で紹介する等、積極的に活動紹介を行った。

#### 4. 船員災害防止協会優良会員の認定

優良会員認定要領により、各支部からの推薦を基にゼロ災害に努力し、当協会の災害防止活動に積極的であった120会員を『優良会員』と認定して認定証を発行し、その努力と成果を外部に示すための当該会員の事業所数及び運航船舶数に対する優良会員証（ステッカー）695枚を配布した。

### IV. 安全衛生教育及び技術指導

#### 1. 安全衛生管理実務担当者連絡協議会

##### ○第1回

開催日：令和7年7月30日（参加者：53名）

（1）講演1：第69回 船員労働安全衛生月間実施要領について

国土交通省海事局 船員政策課 労働環境対策室

（2）講演2：保護具が作業者の墜落を阻止する（ハーネス型墜落制止用器具の重要性）

（3）講演3：生活習慣病と食事（健康を守る！食事選びのポイント）

全国健康保険協会 船員保険部

※ 講演2,3について、協会HPにて動画を会員事業者に対して紹介中

##### ○第2回

開催日：令和8年3月17日（参加者：54名）

（1）2026年度船員災害防止実施計画について

国土交通省 海事局 船員政策課 労働環境対策室

（2）令和7年度 船員安全・労働環境取組大賞 大賞受賞

「次世代内航タンカー船『鶴伸丸』就航について」 鶴見サンマリン（株）

（3）令和7年度 船員安全・労働環境取組大賞 特別賞受賞

「教える文化による安全意識向上と地域貢献の取組」加藤汽船（株）

#### 2. 安全衛生教育に関する協力、出張講座、出張講習（個別対応）

船員の災害防止に係る啓発活動を推進するため、支部・地区支部及び船員労働安全衛生協議会等が開催する講習会へ本部から講師を無料で派遣するほか、全国健康保険協会船員保険部、一般財団法人神戸マリナーズ厚生会病院及び一般財団法人船員保険会が行う健康出前講座等を支部主催の船員災害防止大会、衛生講習会等に斡旋し活用するとともに、個々の会員及びその団体、船員養成機関等が自主的に実施しようとする船員の安全意識向上のための啓発活動、安全講習等に対し、きめ細かな支援を行うため希望のテーマにしたがって講習を企画し、本部から講師を有料で派遣した。

<安全衛生教育に関する協力>

##### ① 全国健康保険協会船員保険部

同部が行う健康づくりに関する講習（8回）を実施した。

（健康保険協会船員保険部：4回、神戸マリナーズ病院：2回、船員保険会：2回）

また、個々の会員及びその団体、船員養成機関等が自主的に実施しようとする船員の安全意識向上のための啓発活動、安全講習等に対し、きめ細かな支援を行うため要望に応じて作成した次の講習を企画し、本部から講師を有料で派遣した。

<出張講習（個別対応）>

- (1) 「新入海上職員研修」船社：6名  
RORO 船事業者の新入海上職員に対し、名古屋にて開催
- (2) 「船員の定着率向上を目指して」日本内航海運組合総連合会：150名  
今治、東京、福岡にて実施
- (3) 「船員のヒューマンエラー」内航フェリーの会社：155名  
函館港および八戸港において、合計6回の講習を実施

### 3. 船員の衛生及び健康管理の促進

- (1) 全国健康保険協会船員保険部と協働して、船員の衛生及び健康管理を促進することとしているが、第12次船員災害防止基本計画に定められた船員の健康確保に関する取組である「船員の健康づくり宣言」等に関する資料を船員災害防止大会開催地、各種講習開催地にて配付した。
- (2) ホームページで船員の健康の維持と疾病の予防に関する情報を継続して提供した。
- (3) 船員の健康管理の重点事項である生活習慣病、感染症、熱中症及びパワーハラスメント防止とメンタルヘルスの確保等についてはホームページのほかリーフレット等を作成してその周知を図った。

### 4. 一般船舶及び漁船等における多発災害への対応

2024年度の船員災害状況の集計では、「転倒」、「はさまれ」、「動作の反動・無理な動作」、「転落・墜落」が依然として全体の63%を占めており、死亡及び行方不明者はその主な原因である「海中転落」が36%と高い割合を占めていた。

死亡・行方不明の原因の大半が漁ろう作業中の海中転落であることを踏まえ、甲板上では常に作業用救命衣等の着用が義務付けられていることから、協会では訪船指導等を活用してその周知徹底を図った。また、海中転落・海難が発生した場合においても生き抜くための知識、救命いかだの取り扱いを身に付けるための「生存対策講習会」を全国で積極的に開催した。

### 5. 保護具、計測機器の開発・普及

船員災害防止に有効な保護具（熱中症対策を含む）、機器類の研究開発及び普及の促進を図るため、保護具及び計測機器のメーカー等26社で構成する「船員災害防止推進会」の会員と情報交換を行うとともに、同会の協力を得ながら本部・支部における展示・説明会の他、本船の運航状況、海運の現場に関する理解を深める目的で学術研究船「白鳳丸」見学会を実施した。

## 6. 安全衛生教育普及書籍等の充実

既存頒布書籍等について、船員労働の状況及び会員のニーズを測りながら、改訂、更新を行うとともに、船員災害防止大会、安全衛生講習会において、頒布品の展示及び周知により販売の促進を図った。

- ・衛生管理者教本：電子書籍に変更（令和8年4月に改訂版を発行）
- ・訓練手引書：令和8年7月頃に改訂版を発行予定

## V. 登録試験及び登録講習等の実施

### 1. 安全衛生関係の以下の資格取得講習及び試験

#### ① 衛生管理者登録講習

第50回	5月7日～5月30日	名古屋掖済会病院	30名
第51回	7月1日～7月25日	名古屋掖済会病院	24名

※ 約4週間に渡る長期期間の講習では、病院側及び受講生の負担が大きいことから、100時間の講習のうち、80時間を占める座学講習については、今年度よりオンラインによる講習（オンデマンド形式、LIVE配信の併用）とした。

#### ② 船舶衛生管理者講習(B)

第29回	11月25日～12月4日	横浜掖済会病院	22名
	11月26日～12月5日	神戸掖済会病院	30名
	12月9日～12月18日	東京高輪病院	28名 ※R6年度～
	1月21日～1月30日	名古屋掖済会病院	27名（今年度のみ）

#### ③ 船舶衛生管理者講習(C)

第8回	3月3日～3月13日	横浜掖済会病院	10名
-----	------------	---------	-----

#### ④ 登録危険作業講習（酸素欠乏の予防に関する講習）

第39回	10月14日～15日	9名（前回：3名）
------	------------	-----------

#### ⑤ 危険物等取扱責任者更新講習

令和7年4月1日～令和8年3月31日の間、457名が受講した。

#### ⑥ 船舶料理士登録試験

第18回	10月4日	6名
------	-------	----

#### ⑦ 墜落制止用器具特別教育

4回開催し、合計38名が受講した。（昨年度：5回、92名）

特別開催	4月17日	12名
------	-------	-----

第19回	6月10日	4名
------	-------	----

第20回	10月9日	15名
------	-------	-----

第21回	2月3日	7名
------	------	----

### 2. 講習等受講料の改訂

1. に記載の①及び⑦の講習について、価格改定を実施した。

#### ①「衛生管理者講習」

講習を委託している(公社)日本海員掖済会から委託料の改定の要請を受け、令和

8年度より受講料を改定

②「墜落制止用器具特別教育」

受講者の減少に対し、少人数制によるきめ細やかな指導体制を維持するため受講料の見直しを実施。

## VI. 船員の働き方改革に資する労働環境改善のための啓発活動

### 1. 衛生対策

#### (1) 船員の健康確保のための講習実施

船員の健康確保の観点から、令和2年度から令和4年度までに作成した「高年齢船員の健康確保」、「船員のメンタルヘルス確保とハラスメント対策」及び「船員の生活習慣病の予防(1)」、「船員の生活習慣病の予防(2)」の講習テキストを活用した講習会を集団参加型あるいは事業者毎のニーズ(船内、オンラインによる実施)に応じた形で全国各地において実施した。

#### ○「船員のメンタルヘルス確保とハラスメント対策」講習

29か所で実施し、合計812名が受講した。(前年度:20か所、419名)

4月14日	茨城海洋高校	17名
16日	大洋エーアンドエフ	13名
21日	八戸海事事務所	55名
23日	近海タンカー	29名
5月26日	奄美海運	50名
6月16日	佐藤國汽船	15名
7月1日	名古屋汽船	12名
10日	Kライン RoRo バルク	17名
8月13日	宮崎産業海運	14名
21日	京都地区支部(舞鶴)	20名
28日	北海道支部(室蘭)	49名
9月8日	和歌山運輸支局	32名
9日	四国支部(高松)	63名
	北海道支部(苫小牧)	31名
10日	東北支部(塩竈)	20名
22日	日東タグ(水島)	30名
23日	日東タグ(神戸港停泊中の船内)	15名
25日	日東タグ(オンライン)	7名
10月7日	宮崎産業海運	10名
9日	日本海曳船(新潟)	35名
10日	日本海曳船(直江津)	35名
22日	日本船主責任保険(名古屋)	23名

29日	日本船主責任保険（函館）	31名
11月4日	日本船主責任保険（東京）	61名
	中栄マリン（オンライン）	10名
14日	三洋海運（佐伯）	15名
18日	日立埠頭（日立）	29名
28日	鈴与海運（清水）	30名
12月8日	西日本海運（門司）	44名

○「船員の生活習慣病の予防(1)、(2)」講習

7か所で実施し、合計328名が受講した。（昨年度：7か所、188名）

4月21日	三洋マリン（因島）	11名
8月26日	近畿支部（大阪）	35名
9月5日	北陸信越支部（新潟）	25名
11日	中部支部（名古屋）	67名
12日	中国支部（松江）	20名
10月31日	SOCマリン（赤穂・オンライン）	20名
1月29日	中国運輸局（広島）	150名

○「高年齢船員の健康確保」講習

7か所で実施し、合計160名が受講した。（昨年度：3か所、163名）

4月24日	九州地方整備局関門航路事務所	25名
7月11日	沖縄支部（那覇）	21名
24日	鶴見サンマリン（東京）	20名
31日	鶴見サンマリン（東京）	15名
9月5日	関東支部（横浜）	33名
19日	中部支部（鳥羽）	18名
11月17日	中部支部（四日市・オンライン）	28名

## 2. 安全対策

船員災害防止活動に反映させるべく、災害発生データの分析手法を検討している。

## VII. 調査研究事業

安全・衛生技術指導員等が訪船して実施した船舶の設備、作業及び居住環境等の実態調査並びに行った指導・助言を集計分析し、その結果を『訪船安全・衛生技術指導集計報告書』としてまとめ、関係先に配布、周知して船舶所有者の自主的な改善活動を支援することとしている。

令和7年度に実施した訪船指導結果について年度末に集計し、関係先に配布した。

## 【支部事業】

### I. 船員労働安全衛生月間活動の推進事業

#### 1. 月間活動

各支部及び地区支部が、船員災害防止の意識の向上を図るため、地方または地区の安全衛生協議会等とともに月間事業の推進母体となって無料健康相談所の開設、訪船指導、特別講習会等の開催により、積極的な月間活動を行った。

#### 2. 船員災害防止大会の開催

各支部または地区支部は、船員災害防止大会を主催し、船舶所有者及び船員の安全衛生意識の向上に努めた。

全国 18 会場で開催し 893 名が参加した。（昨年度：16 か所、855 名）

8月21日	京都地区支部（舞鶴）	27名
26日	近畿支部（大阪）	48名
28日	北海道支部（室蘭）	61名
9月1日	神戸支部（神戸）	46名
	姫路地区支部（姫路）	21名
	沖縄支部（那覇）	32名
3日	中国支部（尾道・因島）	44名
5日	北信支部（新潟）	41名
	関東支部（横浜）	76名
8日	和歌山地区（海南）	29名
9日	四国支部（高松）	77名
	九州支部（博多）	97名
10日	東北支部（塩竈）	61名
	中国支部（水島）	32名
11日	中部支部（名古屋）	61名
12日	中国支部（広島・呉）	47名
	中国支部（松江）	43名
	中国支部（徳山）	50名
	参加者合計	893名

#### 3. 安全衛生保護具及び機器類等の展示・説明会の開催

各支部または地区支部は、船員災害防止大会の開催時期等に、安全衛生保護具、作業用救命衣及び各種検知器具について、「船員災害防止推進会」と協力して展示・説明会を開催し、その理解、普及に努めた。

## II. 広報事業

### 1. 各支部・地区支部毎の広報

各支部・地区支部の活動状況及び講習会開催予定等を本部発行の機関誌、ホームページ等を利用して広報した。また、リーフレットを利用して会員の加入促進活動を継続的に行った。

### 2. 船員労働安全衛生功績者の推薦

船員の安全確保または船内衛生の向上に尽力し、その功績が極めて顕著な会員及び団体、並びに会員に所属する船舶及び個人を表彰するために、各支部・地区支部より、功績のあった会員・船舶及び個人を本部に推薦した。

### 3. 船員災害防止協会優良会員の推薦

支部・地区支部は、前年度において自ら災害防止に努力し、協会活動への協力を積極的な会員であって、単年度ごとの『優良会員』として認定すべき者を本部に推薦した。

## III. 安全衛生教育及び技術指導事業

### 1. 安全衛生講習会

48 か所で実施し、2,217 名が受講した。（昨年度：38 箇所、1,564 名）

#### ① 安全衛生講習会（安全講習会と衛生講習会を同時開催 30 箇所、1,408 名）

北海道支部	（小樽）	6月21日	54名
	（室蘭）	8月28日	61名
	（苫小牧）	9月5日	40名
	（紋別）	9月6日	36名
東北支部	（八戸）	4月21日	58名
	（石巻）	7月22日	22名
	（宮古）	7月24日	22名
	（気仙沼）	7月25日	22名
中部支部	（名古屋）	9月11日	59名
	（四日市）	11月17日	38名
北陸信越支部	（新潟）	9月5日	41名
近畿支部	（海南）	9月8日	29名
	（大阪）	2月25日	45名
神戸支部	（神戸）	2月26日	22名
中国支部	（倉敷）	9月10日	32名
	（広島）	9月12日	47名
	（広島）	12月3日	63名
	（広島）	1月29日	157名
	（尾道）	2月4日	50名

	(周南)	2月12日	53名
	(因島)	2月19日	14名
	(倉敷)	2月26日	37名
九州支部	(門司)	4月24日	25名
	(鹿児島)	9月12日	144名
	(唐津)	9月29日	30名
	(宇部)	9月29日	20名
	(北九州)	9月25日	29名
	(佐伯)	9月26日	55名
	(長崎)	9月17日	61名
	(北九州)	9月16日	42名

② 衛生講習会 (17か所、749名) (昨年度：14箇所 485名)

北海道支部	(函館)	8月28日	61名
	(苫小牧)	9月9日	36名
東北支部	(塩釜)	9月19日	61名
関東支部	(横浜)	9月5日	66名
中部支部	(鳥羽)	9月19日	21名
近畿支部	(舞鶴)	8月21日	21名
	(大阪)	8月26日	48名
	(大阪)	9月10日	40名
神戸支部	(姫路)	9月1日	67名
中国支部	(尾道)	9月3日	44名
	(松江)	9月12日	43名
	(周南)	9月12日	50名
四国支部	(松山)	9月29日	19名
九州支部	(鹿児島)	5月26日	50名
	(宇城)	9月26日	46名
	(門司)	12月8日	44名
沖縄支部	(那覇)	9月1日	32名

③ 漁船安全衛生講習会

北海道支部	(紋別)	9月5日	60名
-------	------	------	-----

## 2. 生存対策講習会

船舶遭難時における生存を図るための教育訓練を行うことを目的に、商船・漁船部門の船員、船舶所有者その他海事関係者を対象として、座学ならびに膨張式救命筏、救命胴衣及びイマーションスーツ等を用いた実技と取扱方法等についての講習会を9か所で開催し、合計703名が受講した。(昨年度：8ヶ所、483名)

・北海道支部（函館）	9月25日	64名
・中部支部（鳥羽）	10月6日	56名
・中国支部（境港）	8月21日	61名
・近畿支部（宮津）	7月15日	90名
・神戸支部（津居山）	8月7日	40名
・四国支部（今治）	9月18日	112名
・九州支部（生月）	7月11日	163名
（川南）	7月22日	86名
・沖縄支部（那覇）	8月22日	31名

### 3. 安全衛生教育等に対する協力

支部・地区支部は、個々の会員及びその団体または船員養成機関等が実施する船員の安全意識向上への啓発活動、安全講習等に出張講習を活用し、本部から講師を派遣した。

### 4. 訪船安全・衛生技術指導

安全技術指導員または衛生技術指導員が船舶に訪船して、訪船技術指導表（チェックリスト）に基づく船舶の設備、作業並びに居住環境等の実態調査を行い、必要に応じて指導・助言及び情報の提供を行った。（昨年度：494隻）

・北海道支部	： 64隻
・東北支部	： 30隻
・北陸信越支部	： 11隻
・関東支部	： 24隻
・中部支部	： 27隻
・近畿支部	： 77隻
・神戸支部	： 20隻
・中国支部	： 82隻
・四国支部	： 92隻
・九州支部	： 75隻
・沖縄支部	： 14隻
合計	： 516隻

## IV. その他の活動

### 1. 支部・地区支部運営委員会の開催

各支部及び各地区支部において、構成委員により活動費の収支状況、事業計画及び状況等について審議した。

### 2. 船員災害防止連絡会議（若しくは連絡協議会）への参加・協力

各地方運輸局（神戸運輸管理部及び沖縄総合事務局を含む。）で開催される船員災害防止連絡会議に参加し、同会議で行う船員災害防止活動に協力した。

### 3. 船員労働安全衛生協議会への参加・協力

地方運輸局、運輸支局ごとに組織され、船員災害防止実施計画の実施、特に船員労働安全衛生月間の有効な成果を上げるために活動している船員労働安全衛生協議会に参加、その一員として月間活動、訪船活動、安全パトロール等に協力した。